

vol.19

トロンボーン首席

太田 涼平

Ryohpei Oota



トロンボーンはカッコイイ! 柔らかさから激しさまで繊細な音で表現できる楽器

Q. トロンボーンを始めたきっかけは?

姉の影響で、小学4年のときに始めた金管バンド部で。見た目が格好良い! と思って、スライドの動きに惹かれてこの楽器を選びました。中学校では吹奏楽部、高校は音楽科で吹奏楽部にも入っていました。

Q. オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは?

中学2年までは、吹奏楽コンクールは県大会のダメ金(代表ではない金賞)だったんですけど、3年生のときに全国常連の先生が来て、毎日泣くくらい(笑)スパルタで厳しい練習になりました。少ない人数でも大編成の部で全国大会に連れて行ってもらい、それも金賞、全国1位になったんです。それがきっかけで、トロンボーンを仕事にして、もっといろんな人に聴いてほしいなど思うようになりました。吹奏楽をやっていたけど、最終的にはオーケストラが目標で。僕は長野県松本市出身なので、サイトウ・キネンの公開リハーサルを聴けたりと、オーケストラを聴く環境に恵まれていたんです。

Q. トロンボーンの魅力は何ですか?

見たまま、カッコイイ!! それから、他の楽器もそうですが、特に、とても柔らかい場面から逆に激しい場面まで、すごく繊細な音で表すことができる楽器です。

Q. 好きなトロンボーン奏者は?

クリスティアン・リンドベルイ。天才的でテクニックはもちろんすごいけど、表現が大好き。高校生のときに先生から借りたCDにあった、彼のアルト・トロンボーンがすごく柔らかい音色で、これがトロンボーンなのか! と驚きました。彼のCDには、今回演奏するニーノ・ロータも入っているんです。いろんな方の演奏を聴きましたが、やっぱり彼の演奏はCDだけで場面がすごく伝わってきて、何度聴いても飽きないですね。

Q. 好きな作曲家・曲は?

ブラームス。特に、ブラ1とかブラ4とか、神様のコラールの部分でトロンボーンが登場する場面。それまではずっと休みで、吹く側としてはすごく怖いんだけど、そこに辿り着いたときの、天から降ってくる感じが好きです。

Q. 使用している楽器について教えてください。

メインで使っているのは、バックの42BO。割とスタンダードな楽器です。少し前まで使っていたC.G. コーンの88Hは、自分が一番吹いていた楽器なんですけど、今使っているバックは、他人が吹いている音色が好きで。ただ、自分が吹くと上手くいかない。だから、買っては手放して、また買ってを繰り返して(笑)、今、挑戦中なんです。大分慣れてきたかな。

Q. 山形でお気に入りのものや場所、食べ物などはありますか?

この前初めて山寺に行ってきました。上るのは大変だったけど、上からの眺めはとても良くて、何度でも行ってみたいなあと思いました。好きな食べ物は肉! 友達が来てくれたときには、自分ではなかなか行けない良いお店に行って、おもてなしするつもりで自分が楽しんでます。

Q. 休みの日は何をしていますか?

練習をして、犬(チワワ)の散歩に行ったり、レッスンがあったり。TVゲームも昔から好きですね。今年の冬は、月イチでスキーに行きたいなと思っています!

Q. 今回のソロへの意気込みは?

今回でソロを吹かせていただくのは2回目ですが、入団して間もなくの頃の自分から、山形という環境にも慣れて山響の皆さんとも打ち解け、人間的にも成長できたところを、自分の音楽に表現できたら良いかなと思っています。

Q. 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

本日もご来場頂きありがとうございます。お客様に支えて頂き創立45周年という素晴らしい年を迎えることができました。次は50周年、その先と皆様に更に愛される山響を目指して精進してまいります。今後ともご声援宜しくお願い致します。